学校番号	３１５

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「精選国語総合改訂版」　（三省堂）						
副教材等	「やさしくくわしい古典文法」（尚文出版）「常用漢字オールクリア」（尚文出版）「国語学習のスタート」（尚文出版）「クリアカラー国語便覧」（数研出版）「みるみる実力アップ現代文１」（第一学習社）「古典文法習得のための用言活用ノート」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身に付けることを目指します。
・そのために日々の学習では①本文を繰り返し音読する。②人の意見を聞いたり読んだりして理解し、自分の意見をまとめる。③文章に出てくる言葉の意味を、辞書を用いて調べる。を心がけましょう。
・古典の時間では、有名な古文や漢文の作品に親しみ、筆者や登場人物の心情等を正しく理解するために文法の知識や語彙力を身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業のあとには内容を振り返って復習してください。
・提出物は期限を守って必ず提出しましょう。定期考査は計画を立てて準備に臨みましょう。

２　学習の到達目標

・文章の内容や構成、登場人物の心情などを的確に理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、考えや思いを適切に表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し相互理解を深めるために、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・古典の言語文化に対して興味・関心を持ち、国語を大事にする態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を自ら高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を大事にしてその向上を図ろうとする。	目的・場・相手に応じて効果的に話し、的確に聞き取り、話し合って自分の考えをまとめたり深めたりしている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取る。また目的に応じて幅広く色々な種類の文章を読んで、自分の考えをまとめたり、深めたり、発展させたりしている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

評価方法	・行動、態度の観察 ・記述の提出、確認（ノート、プリント等）	・行動の観察 ・記述の点検及び分析（ノート、プリント等）	・記述の点検及び分析（ノート、原稿用紙、プリント等）	・記述の点検及び分析（ノート、プリント等） ・定期考査	・記述の点検（ノート、プリント等） ・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	随想の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「『待つ』ということ」	○			○	○	a：「待たない社会」と「待てない社会」の比較から両者の違いについて考えを深めようとしている。 d：「待つということ」に対する二つの考え方を理解している。 e：主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
1	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「水の東西」	○			○	○	a：日本と西洋の水の比較から、文化の違いについて考えを深めようとしている。 d：鹿おどしと噴水の違いに着目して、日本人と西洋人の水に対する考え方を理解している。 e：主な常用漢字について正しい使い方を身に付けている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
1	古文入門	【古典】 教材: 説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 文法等…歴史的仮名遣い、口語文法の復習、文節、単語、文語の動詞の基礎	○			○	○	a:歴史的仮名遣いや古語、文法に注意して内容を読み取ろうとする。 d：歴史的仮名遣いや古語、文法に注意して内容を読み取る。 e：歴史的仮名遣いと用言について理解する。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査

1	小説の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「羅生門」	○		○	○	○	a:下人の置かれている状況、老婆の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し自分の考えを持とうとしている。 c:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解した上で読後の感想を文章化する。 d:比喩表現や語りの視点に注意し、作品世界の状況を把握して、人物の考え方とその変化を理解している。 e:主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	a:行動の観察及び記述の確認 c:記述の点検と分析 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
1	古文の随筆を読む	【古典】 教材: 随筆『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」 文法等…文語の動詞の基礎	○			○	○	a:内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。 d:内容を踏まえて筆者のものの考え方を理解し、自身の考えを深める。 e:歴史的仮名遣いと用言（特に動詞）について理解する。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
2	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「情報と身体」	○		○	○	○	a:筆者が述べる、情報と身体の関係を理解しようとしている。 c:引用事例及び筆者の論理展開に着目して、筆者の主張を過不足なく読み取り、自分の考えを文章化する。 d:引用された事例から、筆者の考えを理解している。 e:読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身に付けている。読むことに必要な概念を理解し使いこなす。	a:行動の観察及び記述の確認 c:記述の点検と分析 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査

2	意見文を書く	【近代以降】 〈評論について意見文を書くことで文章の書き方を学ぶ〉 教材:「小論文を書く」プリント	○		○		○	a: 自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。 c:自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性のある具体例などを用い、自らの論が成り立つ根拠をを示している。 e:書くことに必要な文章の組み立てについて理解している。	a:行動の観察及び記述の確認 c:記述の点検及び分析 e::記述の点検
2	古文の物語を読む	【古典】 教材: 『伊勢物語』 「筒井筒」 日記『土佐日記』「門出」 文法等…文語の用言の活用、助動詞の意味・活用・接続の基礎	○			○	○	a: 登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとする。また朗読を通して文体を味わい内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。 d: 登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解している。また、表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解する。 e: 用言（形容詞、形容動詞）と基本的な助動詞について理解する。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
2	小説の内容を理解する	【近代以降】 教材:「清兵衛と瓢箪」	○	○		○	○	a: 登場人物の置かれている状況や考え方、心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持とうとしている。 b :自分の感想を発表したり、他者の感想を聞いて読みを深める。 d : 文体や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。	a:行動の観察及び記述の確認 b:行動の観察 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
2	漢文入門	【古典】 教材:成句・格言 故事成語 「五十歩百歩」	○			○	○	a :漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。 d :用例としてあげられている故事成語の意味を理解している。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査

		句法等…訓点・再読文字・書き下し文						e：漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解する。	e:記述の点検及び定期考査
3		【古典】 教材:「百人一首」	○			○	○	a：和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとする。 d：作者の思いや感動を読み取り、和歌を味わう。 e：和歌の特徴と表現技法について理解する。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と定期考査 e:記述の点検及び定期考査
3	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「なぜ私たちは労働するのか」	○			○	○	a：「労働」と「私ひとり」が受益者ではないという筆者の見解を理解しようとしている。 d：労働をめぐる筆者の主張を論理展開に着目して理解している。また引用事例及び筆者の論理展開に着目して、筆者の主張を過不足なく読み取っている。 e：読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。また、読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
3	さまざまな文章を読む	【古典】 教材: 故事成語「蛇足」 『平家物語』 「木曽の最後」 文法等…文語の基礎的な敬語	○			○	○	a：日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとする。また、表現や当時の風習などを踏まえつつ、登場人物の心情を理解しようとする。 d：文章の内容を正確に読み取る。また、表現や当時の風習などを踏まえつつ、登場人物の心情を理解する。 e：訓読のきまり句法について知識を深める。また、敬語の基礎知識を身につけている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の点検と分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査

【課題・提出物など】
① 授業ノート
② 授業で使用したプリントなど
③ 授業で作成した小論文
④ 夏休み、冬休みの課題　など
【成績の出し方】
学期全体の評価は、定期考査８０％、平常点（出席、態度、提出物、小テストなど）２０％。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。